

- 原著 -

佐渡市立両津病院歯科口腔外科における外来および入院患者の臨床統計的観察

～最近5年間の動向について～

高山裕司^{1,2}, 児玉泰光², 山中正文^{2,3}, 勝見祐二^{1,2}, 猪本正人¹, 高木律男²¹ 佐渡市立両津病院歯科口腔外科 (科長: 猪本正人)² 新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野 (教授: 高木律男)³ 沼田脳神経外科循環器科病院歯科口腔外科 (部長: 山中正文)

Clinico-statistical Observation of Out and Inpatients

during last 5 years at Department of Dentistry and Oral-Maxillofacial Surgery

in Sado Municipal Ryotsu Hospital.

TAKAYAMA Yuji^{1,2}, KODAMA Yasumitsu², YAMANAKA Masafumi^{2,3}, KATSUMI Yuji^{1,2}
INOMOTO Masato¹, TAKAGI Ritsuo²¹Department of Dentistry and Oral-Maxillofacial Surgery, Sado Municipal Ryotsu Hospital (Chief: Masato INOMOTO)²Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences (Chief: Prof. Ritsuo TAKAGI)³Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Numata Neurosurgery & Heart-Disease Hospital (Chief: Masafumi YAMANAKA)

平成 20 年 10 月 10 日受付 10 月 24 日受理

Key Words ; 臨床統計的観察 (Clinico-statistical observation) 高齢者率 (Rate of elderly people)
有病高齢者 (Medically compromised and aged patient)
病診連携 (Medical cooperation among clinics) 病病連携 (Medical cooperation between hospitals)

Abstract : A clinical and statistical observation of out and inpatients at the department of dentistry and oral-maxillofacial surgery, sado municipal ryotsu hospital in april 2002 to march 2007 gave the following findings:

- There were 1,706 new patients during the period of time: 716 males (41.9%) and 990 females (58.1%), a sex ratio 1 : 1.4. There were 281 inpatients: 135 males (48.2%) and 146 females (51.8%), a sex ratio of 1 : 1.1. Among age groups, patients in their 70s accounted for the highest percentage of out and inpatients, and the number of new elderly patients aged 65 years or older increased year by year.
- The most common residence area was the Ryotsu District for out and inpatients.
- The overall referral rate was 17.0% (287patients), and dental practitioners most frequently introduced patients (176 patients, 10.3%).
- The correspondence to medically compromised and aged patient is one of the main future themes.

抄録 : 今回, 私たちは, 平成 14 年 4 月から平成 19 年 3 月までの 5 年間に, 佐渡市立両津病院歯科口腔外科を初診した外来および入院患者について臨床統計的観察を行い, 以下の結果を得た。

- 対象期間中の新来患者数は 1,706 名で, 性別は男性 716 名 (41.9%), 女性 990 名 (58.1%), その比は 1 : 1.4 であった。一方, 入院患者数は 281 名で, 性別は男性 135 名 (48.2%), 女性 146 名 (51.8%), その比は 1 : 1.1 であった。年齢別では, 新来および入院患者ともに 70 歳代が最も多く, 年次推移でも 65 歳以上の高齢者が増加傾向にあった。
- 新来および入院患者の居住地別では, 当施設のある両津地区が最も多かった。
- 新来患者の紹介元別では, 開業歯科医院が最も多く 176 名 (10.3%) で, 紹介率は全体で 17.0% であった。

- ・当科が今後も歯科医療サービスを介して地域貢献してゆくためには、有病高齢者の歯科医療が主要なテーマの1つになると考えられた。

【緒 言】

佐渡市立両津病院歯科口腔外科は、佐渡市で唯一の公立病院歯科として口腔外科を中心に顎口腔疾患の治療と管理を行っている。平成14年度からは常勤歯科医師が2名となり、地域歯科医療に果たす役割はますます拡大している。そこで、今回、常勤歯科医師が2名となった新体制後の患者動向を把握し、今後のより適切な対応を模索することを目的に、最近5年間の外来および入院患者の臨床統計的観察を行ったので報告する。

【対象および方法】

対象は、平成14年4月から平成19年3月の5年間に、佐渡市立両津病院歯科口腔外科を初診した外来患者（以下、新来患者）および入院患者である。調査項目は、新来患者については、年度別および性別新来患者数、年齢別新来患者数、居住地別新来患者数、紹介元別新来患者数、疾患別新来患者数、各種疾患別新来患者数の6項目とし、入院については、年度別および性別入院患者数、年齢別入院患者数、居住地別入院患者数、疾患別入院患者数、在院日数別患者数の5項目とした。調査方法は、外来カルテ、入院カルテ、画像資料などを用い観察した。治療対象となる疾患が複数の場合は、主たる疾患により分類し、原則として1症例1疾患とした。疾患分類は、阿部らの報告¹⁾を参考に、表1に示す12分類とした。このうち「歯および歯周疾患」は、初診後早期に抜歯などの観血処置を必要とした症例と保存修復や補綴処置のみを行った症例とに区別し、後者を一般歯科疾患として細区分した。また、入院患者における在院日数が1週間未満の症例は、短期入院として便宜的に区別した。

【結 果】

1. 新来患者について

年度別および性別新来患者数

新来患者総数は1,706名で、男性716名、女性990名であり、年間平均は全体で341名、男性143名(41.9%)、女性198名(58.1%)、男女比は1:1.4であった。年度別では、平成15年度が385名と最も多かったが、各年

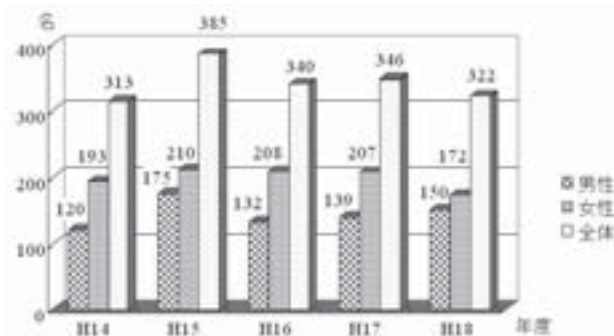


図1 年度別および性別新来患者数

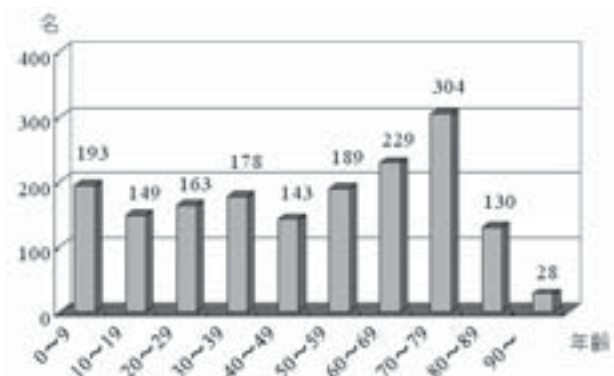


図2 年齢別新来患者数

度における総数および男女比に大きな差は認めなかった(図1)。

年齢別新来患者数

年齢別では、70歳代が最も多く304名(17.8%)で、以下60歳代229名(13.4%)、10歳未満193名(11.3%)、50歳代189名(11.1%)の順であった(図2)。65歳以上が占める割合(以下、高齢者率)は全体平均が35.0%であり、年度別では、平成14年度が27.5%で、その後は徐々に増加し、平成18年度には42.9%に達していた(図3)。

居住地別新来患者数

居住地別では、両津地区が最も多く1,396名(81.8%)で、以下新穂地区72名(5.1%)、佐和田地区56名(3.3%)、金井地区51名(3.0%)、畑野地区42名(2.5%)、真野地区23名(1.3%)の順であった(図4)。その他に、観光中の急患として受診した市外および県外の患者が66名で、年度による大きな差は認めなかった。